

■ 創建 90 周年に花を添える“初”づくし！ 関大の歴史に新たな1ページ ■
千里山キャンパス「簡文館」が大阪府指定文化財に指定
 ～ 大阪府指定で、①戦後建築初！ ②大学建築初！ ③村野藤吾建築初！ ～

このたび、関西大学千里山キャンパスにある「簡文館」（関西大学旧千里山図書館）が、大阪の近代期における高等教育機関の施設として価値を有していると評価を受け、大阪府指定有形文化財（建造物）に指定されました。

本件の
ポイント

- ・簡文館は 1928 年竣工、1955 年に増築され今年で創建 90 周年。「戦後の建築」として大阪府初の指定
- ・同館は府内に現存する最古の近代高等教育機関施設であり、「大学の建築」としても初の指定
- ・増築部分は近代期を代表する建築家・村野藤吾の設計であり、「村野藤吾の建築作品」としても初指定

簡文館は、1928 年に建築された「旧図書館」（鉄筋コンクリート造、地上 3 階・地下 1 階）と、1955 年に建築された「円形図書館」（鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 3 階）で構成されています。現在は博物館施設として主要部分を広く一般に公開しており、今年で創建 90 周年を迎えます。

「旧図書館」は、本学初の鉄筋コンクリート造で千里山キャンパス創設時を代表する建物です。外観にはゴシック様式の要素を取り入れ、内部の構造体は、堅固ながら軽やかに見えるよう丁寧に作られています。同建物は大阪府内における近代の高等教育機関施設として現存する最古のものであり、同時期に建てられた鉄筋コンクリート造として希少な図書館施設でもあります。

一方「円形図書館」は、戦後の学生増加・施設拡充に伴い増築された建物で、設計者は、戦前から戦後にかけて大阪を拠点に活躍した日本近代の代表的建築家の一人である村野藤吾です。村野は、千里山キャンパスで約 40 棟におよぶ校舎の設計を手がけましたが、簡文館はキャンパス内で最もよく知られた存在であり、大阪府内に現存する村野の代表作でもあります。「旧図書館」とは対照的に、モダニズムを基調としながらも赤褐色のタイル貼りに色タイルでモザイクを施したり、多様な形態の窓を組み合わせ、立面を構成したり、村野らしいデザイン要素が多く見られます。

今回の文化財指定は、「戦後の建築」「大学の建築」「村野藤吾の建築作品」として、いずれも大阪府で初の指定となります。建物そのものの価値を評価されたことはもちろん、本学におけるこれまでの保存・活用の取組みが認められたものと捉えています。今後も全学を挙げて、文化財として恒久的な保存に取り組むとともに、博物館施設として広く一般に公開し、その価値を社会の皆様に還元・共有していく所存です。

なお、本学では今回の文化財指定を記念し、博物館ミュージアム講座「大阪の近現代建築とその楽しみ方」ならびに年史資料展示室企画展「簡文館の 90 年～大学昇格から現在まで～」を別紙の通り開催します。つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。



現在の円形図書館外観

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

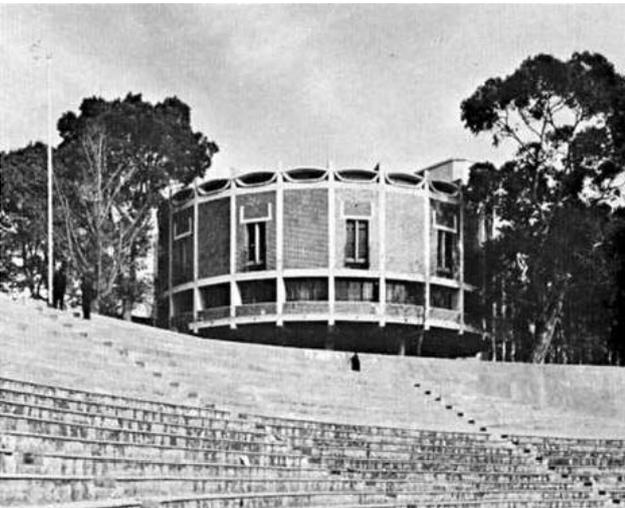
■ 写真で見る簡文館の歴史



創建時の旧図書館（1928年頃）



現在の旧図書館外観



創建時の円形図書館（1955年頃）



現在の円形図書館外観



創建時の円形図書館閲覧室（1960年頃）



現在の円形図書館2階（常設展示室）

■ 建築家・村野藤吾（1891～1984 本名：村野藤吉）

1891年、佐賀県・唐津生まれ。1918年、早稲田大学工学部卒業後、大阪の渡辺建築事務所に入所し、大阪を本拠として活躍した日本近代期を代表する建築家の一人。1967年、文化勲章受賞。代表作に「旧そごう百貨店大阪本店」「心齋橋プランタン」「志摩観光ホテル」「世界平和記念聖堂（重要文化財）」「新歌舞伎座」「日本生命日比谷ビル（日生劇場）」など。

関西大学の千里山キャンパスでは、1949年から約30年間に約40棟の建物を設計。簡文館を含め、その半数近くの作品が現存する。

<2018年度 関西大学博物館ミュージアム講座「大阪の近現代建築とその楽しみ方」>

概要：大阪には赤レンガ建築からレトロモダンの戦後建築まで、個性的な建築があります。それらの価値や保存活用の取組み、建物や街の楽しみ方について、村野建築や大阪府内の近現代建築を通じて知っていただく講座です。講義後にはガイドツアーを実施します。

日程：〔第1回〕4月28日（土）関西大学の村野建築
講師：橋寺 知子 関西大学環境都市工学部准教授
〔第2回〕5月12日（土）大阪府内の近代建築と文化財
講師：神谷 悠実 大阪府教育庁文化財保護課
〔第3回〕5月19日（土）近現代建築の楽しみ方—イケフェス大阪—
講師：高岡 伸一 近畿大学建築学部准教授・建築家

会場：第1回・第2回 関西大学千里山キャンパス 尚文館1階マルチメディアAV大教室
第3回 関西大学梅田キャンパス 8階 KANDAI Me RISEホール

時間：各回とも、13：30～14：30 講座 15：00～16：00 ガイドツアー

定員：100名（要事前申込） ※第3回のガイドツアーのみ60名

受講料：無料

申込方法：「関西大学博物館ミュージアム講座希望」と明記して、①名前、②住所、③電話番号、④Eメールアドレス（またはFAX番号）、⑤5月19日村野建築ガイドツアー（定員60名）に参加・不参加の順でご記入いただき、関西大学博物館までEメールまたはFAXにて申込。（電話での受付不可）

申込締切：4月21日（土）【必着】 定員を越えた場合は抽選
※締切日の翌日以降、受講決定通知をEメールまたはFAXで博物館から返送。
受講当日、受講決定通知を持参のうえ、受付にて提示してください。

申込先：関西大学博物館「ミュージアム講座」係
Eメール：hakubutsukan@ml.kandai.jp FAX：06-6388-9928

問合せ先：関西大学博物館
大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL：06-6368-1171（9：00～17：00）

<2018年度 関西大学年史資料展示室企画展「簡文館の90年 ～大学昇格から現在まで～」>

概要：パネルや写真、ゆかりの品を展示し、竣工から90年にわたる簡文館のあゆみをご覧ください。本展示を通じて、千里山キャンパスで最も古い建物が持っているさまざまな魅力を感じていただきます。

会期：2018年4月1日（日）～ 2019年3月23日（土）※最終日は予定

開館時間：10：00 ～ 16：00

場所：関西大学千里山キャンパス 簡文館1階 年史資料展示室

休館日：日曜・祝日・大学が定めた休日
※4月1日（日）・8日（日）・5月20日（日）は開館

入館料：無料

事前申込：不要

問合せ先：関西大学年史編纂室
大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL：06-6368-1062 Eメール：nenshi@ml.kandai.jp